

YA っって何？

YA(ワイエー)とは Young Adult(ヤングアダルト)の略称です。
主に、中学生・高校生を中心とした10代の「子どもでも大人でもない世代」を指した
(若い大人)という意味の言葉です。

この時期は、学校生活や進路など、悩みも多いかもしれません。
だからこそ、読書が一番必要な時期とも言えます。
だけど、児童書だと物足りないし、分厚い一般書だと読む気にならない…。そんな世代に向けて、和光市図書館にはいろいろなジャンルの本を集めた「YA図書」(YAコーナー)があります！
小説や職業、進学、料理、スポーツ、電撃文庫などの人気ライトノベルも！！

ぜひ、自分だけの一冊を探しに、図書館に来てみてください。
マンガの所蔵一覧も、新しく設置しましたので、ご利用ください。



『YA通信』は、中高生向けの情報を発信していく図書館情報紙です。
3月(春)・6月(夏)・9月(秋)・12月(冬)の、年4回発行します。
和光市図書館 YA 通信を、どうぞよろしくお願いいたします！



©和光市

今年もやります、本の福袋！

YA 事業
図書館クラブのご案内

分館

本の福袋とは、本の表紙が見えない状態で、テーマが記載されたタグを見て、本を借りてもらう企画です。新しい本との出会いをお楽しみいただきたく、借りた後にどんな本なのかがわかる仕組みになっています。

今回も市内の中学生・高校生が、おすすめしたい本を分館で選び、利用者の方に手に取ってもらえるよう想像しながらテーマを考え出しました。

どんな中学生・高校生が選んでくれた本なんだろう？と想像しながら借りていただくと、より楽しめるのではないのでしょうか。

また、持ち帰り用のバッグは、英字新聞を使った手作りで、持ち運びも軽くて便利です。

来年1月5日(金)から分館にて貸出しますので、お楽しみに。(一人1回限り)



和光市立第三中学校の生徒さんが作った 絵本を展示しました！

今年度も和光市図書館(本館)の YA コーナーにて
和光市立第三中学校の生徒さんが授業で作った絵本 20 冊の展示を行いました。
デザイン・ストーリーともに手作りの絵本で、どれも力作で素晴らしい作品ばかりでした。



第三中学校のみなさま、
素敵な絵本をありがとうございました♪



©和光市



冬休みにおすすめの本

おすすめ本を紹介します。ぜひ、読んでみてくださいね。



『セントエルモの光 久閑野高校天文部の、春と夏』

天川 栄人 // 著 講談社(2023年)

分類:Y913 資料コード:12147310(本館)
資料コード:52016795(分館)

主人公の安斎えるもは、高校1年生です。この春、3年ぶりに東京から地元に戻って来ることになりました。自分のやりたいことが見つからず、部活にも入っていませんでしたが、久しぶりに見上げた地元の星空に感動し、天文部に入ることを決めます。しかし、天文部は変人の先輩が一人しかおらず、廃部寸前でした…。

東京で色々あってボロボロになっていたえるもですが、天文部での出会いを通して自分自身と向き合い、成長する物語です。

ぜひ手に取って読んでみてくださいね。





冬休みにおすすめの本

おすすめ本を紹介します。ぜひ、読んでみてくださいね。



『文通小説』

眞島 めいり // 作 柗 有花 // 絵 講談社(2023年)

分類:Y913 資料コード:12146715(本館)

主人公ちさとは親友の急な転校に揺れる中学3年生。文通を通しての親友とのやり取りの中で自分に欠けていたものに気づき、一歩を踏み出すまでを描いた作品です。

友達関係、親との関わり、進路について…誰でも一度は経験する悩みや焦りに共感し、応援したくなります。

同じような悩みを抱えたとき、少し前向きになれるヒントが見つかるかもしれません。



『それでも、世界はよくなっている』

ラシュミ サーデシュパンデ // 著 神田 由布子 // 訳 亜紀書房 (2022年)

分類:Y304 資料コード:51032076(分館)

毎日たくさんのニュースが飛び交っていますが、「よくないニュースが多いな」「いいニュースはあまり見ないな」と感じることはありませんか。ですが長期的にみて、以前よりよくなっていることも確かにあるのです。正しいニュースとどう向き合うか、情報はどうやって集めたらいいのか、少しずつ世の中を良くしていくために何ができるのか…。たくさんのニュースを目にする時期だからこそ、ちょっと考えてみるのもいいですね。

分かりやすい文章で書かれているので、メディアリテラシー、情報リテラシーの入門書としてもおすすめです。



令和5年度 埼玉県推奨図書を紹介

推奨図書とは・・・埼玉県で読書週間や彩の国教育週間に向けて、青少年の皆さんに読んでいただきたい図書を県民や出版社が推薦し、埼玉県青少年健全育成審議会での審議を経て選ばれた図書です。図書館本館と下新倉分館の両方で所蔵していますので、ぜひ読んでみてください。

《中学生向け》 書名・著者名・出版社・請求記号(本の背の数字)の順に記載しています。詳しくはカウンターまで。

『バスを降りたら』

眞島 めいり // 作
PHP研究所 Y913

毎朝同じバスに乗る、志望校に落ちた律と、律が落ちた中学に通う奈鶴。2人はそれぞれ、別の意味でお互いのことが気になり始める。



『パンピー』

いとう みく // 作
静山社 Y913

高校生の成は行方不明中の父親から送られてくる生活費で3人の妹と暮らしていた。だが、もう1人妹がいるといわれ!?



『いっしょにいるよ 子どもと裁判に出た犬フランとハッシュの物語』

涌井 学 // 著 子ども支援センターつなぐ // 原案 小学館
913(本館) Y913(分館)

虐待を受けた子どもが裁判で証言する時のストレスを軽減するため、裁判所に付き添う「付添犬」。しかし「付添犬」が認められるまでには、多くの人々の大変な努力がありました。



『彼の名はウォルター』

エミリー ロッダ // 作 さくま ゆみこ // 訳 あすなろ書房 933 口

バスが故障したために避難した不気味な屋敷で『彼の名はウォルター』という書名の本を見つけたコリンたち。その本には驚愕の内容が書かれていた!!



『僕らが学校に行く理由』

渋谷 敦志 // 写真 文ポプラ社 372

貧困・災害・紛争に負けずに学ぼうとする世界の子どもたちを取材したルポ。この本を読んで「なぜ学ぶのか」を考えてみませんか。



貸出中の場合、予約できます!



©和光市

《高校生向け》 書名・著者名・出版社・請求記号(本の背の数字)の順に記載しています。詳しくはカウンターまで。

『あなたの教室』

レティシア コロンバニ // 著 齋藤可津子 // 訳 早川書房 953.7 口

教師をやめてインドに来たフランス人女性レナは、ホーリーという少女に出会う。女という理由で学校に通えないホーリーのためにレナはこういう子たちが通える教室を作ろうと決心する。



『マイスマールランド』

川和田 恵真 // 著 講談社 Y913.6(本館) 913.6(分館)

幼い頃から日本で育ち、埼玉の高校に通うクルド人の少女サーリヤ。アルバイトをして、進学も望んでいたが、家族の在留資格が失われたことで生活が一変してしまう。



『HAVE PRIDE HAVE PRIDE 生きる!愛する! LGBTQ+の2300年の歴史』

S.A.コールドウェル // 著 S.サンダース // アドバイザー 榎田 理絵 // 訳 合同出版 Y367.97

LGBTQ+の人々が自分たちの権利を獲得するために起こした行動と、それを抑圧する社会の歴史がわかる。



『ウェルカム・ホーム!』

丸山 正樹 // 著 幻冬舎 913.6

「とりあえずの職場」ということで特別養護老人ホームで働き始めた康介。しかし、様々な入居者と向き合ううちに、この仕事の面白さに少しだけ気づいていく。



『金環日食』

阿部 暁子 // 著 東京創元社 913.6

大学生の春風はひっそりと犯を追うが取り逃がしてしまう。犯人の落とし物を手がかりに、高校生の錬とともに犯人を探し出そうとするが…。



本棚の場所がわからなかったらカウンターまで!



©和光市